

# 日本ACP研究会 News Letter

2020.5  
Vol.01

## 日本アドバンス・ケア・プランニング (ACP) 研究会第4回年次大会を開催して

日本ACP研究会第4回年次大会を愛知県春日井市で開催することができました。大会のテーマは「ACPの実践」としました。

近年の高齢化を受け医療介護福祉の現場で意思決定支援の必要性から日本各地の医療機関、施設、在宅でACPが実践されはじめ、今大会では現状でのその成果と課題を共有することができました。

岩手保健医療大学学長の清水哲郎先生に特別講演をいただき、パネルディスカッションでは「ACPの実践とその在り方」、シンポジウムでは「これからの日本社会におけるACPの位置付け」を取り上げました。前回大会を超える578名の多職種の皆さんにご参加いただき、改めてACPへの関心の高まりとともに当研究会への期待を感じました。



春日井市民病院  
外科がん相談支援センター部長  
會津恵司氏

### 第4回 日本ACP研究会 年次大会 ▶ 2019年9月15日 ▶ ホテルプラザ勝川



2019年9月15日に愛知県春日井市にあるホテルプラザ勝川で第4回日本ACP研究会年次大会が行われました。大会長は春日井市民病院の會津恵司医師でした。前日の小笠原文雄先生(小笠原内科)をお招きしての市民公開講座には418名、大会当日には578名(医師:73名 医師以外の医療介護職:505名)の参加がありました。本研究会年次大会では初めて複数会場で同時にプログラムが進行されましたが、どの会場も多くの参加がありました。プログラムは最多で4会場同時に進行されました。様々な職種、立場の先生方がACPについて熱弁を振るわれ、参加者も熱心に聞き入っていました。ワークショップも大変な盛り上がりを見せました。すべてのプログラムについてレポートできるとよいのですが、紙面の都合上、今回はパネルディスカッションとシンポジウムについて報告させていただきます。

パネルディスカッション「ACPの実践とその在り方」には3人の演者が登壇されました。

①松浦将浩先生(安芸市民病院)は広島県安芸地区医師会の実践での支援者のACPにおける不安に対するアドバイスの発信について、②澤田格先生(西岡病院)は地域包括ケアシステムでのACPの実践について、③西出真悟先生(オレンジホームケアクリニック)は在宅医療でのACPの実践について話されました。ディスカッションではフロアからの「ACPに積極的でない医師への対応について」各先生と座長の佐藤尚文先生(公立富岡総合病院)が話され、文化として定着するのは時間がかかることを踏まえること、本人の思いを医師に伝え続けること、ACPの必要性を国民に伝えていき、国民が変わることで医師が変わっていくなどの意見が出されました。



シンポジウム「これからの日本社会におけるACPの位置付け」には4人の演者が登壇されました。

①三浦久幸先生(国立長寿医療研究センター)は医師の立場から、ACPの歴史、日本のACPの現状、今後の日本のACPについて患者本人の意思を尊重し地域包括ケア推進の流れの中でACPを普及啓発することを提案されました。また、日本社会においてACPが成熟した先には、救急搬送された場合でも本人が救命・蘇生を望まない意向を残していると、本人の思いが実現できるかもしれないという展望を話されました。

②松岡輝昌先生(厚生労働省)は厚生労働省の立場から、超高齢化社会を迎える日本の看取りの状況、人生の最終段階における医療体制整備、「人生会議」などACPの普及活動について話されました。また、ガイドラインにある「文書化する」様式について問われることがあるが、様式を作ると項目を埋めることに終始し、形骸化する懸念がある。あくまで過程を記録することが大切であることを強調されました。

③樋口範雄先生(武蔵野大学)は法律家の立場から、ACPと法の

関係について、今後の法の役割としてACPをしなければ制裁という考え方ではなく、ACPを支援する手段の一つであるという考え方について話されました。

④箕岡真子先生(東京大学大学院)は臨床倫理の立場からAD(アドバンスディレクティブ)とACPの関係、コミュニケーションを重視したDNAR指示(POLST)や看取りの意思確認を行うことがACPの一つになり得ることについて話されました。また、ガイドラインのキーワードとして、(1)自律性、(2)well-being(本人の幸せ・QOLを考える)が挙げられ、ACPはそれらの実現の方法論、人生を豊かにできる方法論であることを述べられました。



一般社団法人

日本アドバンス・ケア・プランニング研究会

研究会役員

本研究会は、日本版ACPの実践のありかたの検討、日本全国へのACPの普及啓発を目指して、平成28年5月に設立し、同年より年次大会を開催してきました。ACPへの全国的な関心の高まり、研究会活動のさらなる発展を目指すため、令和2年1月、一般社団法人として再スタートしました。引き続き情報発信をしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

代表理事	三浦久幸	国立長寿医療研究センター
理事	五十嵐知文	社会医療法人恵和西岡病院
	高橋浩	岩手県立二戸病院
	會津恵司	春日井市民病院
	紅谷浩之	ほっちのロッヂ
	西川満則	国立長寿医療研究センター
監事	大友宣	医療法人財団老蘇会静明館診療所
	西出真悟	オレンジホームケアクリニック

予告

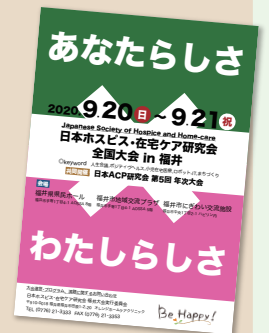
日本ACP研究会 第5回 年次大会



大会長  
医療法人社団オレンジ 理事長  
紅谷浩之氏

大会メインテーマは「Be Happy! あなたらしさ×わたらしさ」です。昨年話題となった「人生会議」の企画を通して、医療の在り方を考えます。あなたらしさって何ですか？わたらしさってどんなものですか？多様な価値観が集まるごちゃ混ぜの空間を一緒に楽しみましょう。また、本大会は日本ホスピス・在宅ケア研究会との共同開催となります。医療に関する最新の知見や技術を学べるシンポジウムや発表に加え、まちづくりやアートなど異業種・異分野で活躍中の方々をお招きし、一人ひとりの「らしさ」の違いを超えて、全く新しい発想を創出することを目指します。新型コロナウイルスによる影響も懸念される中ですが、皆さまに安心してご参加いただけるようしっかり準備を進めてまいります。

共同開催学会：第27回日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会 in 福井  
日 時：2020年9月20日(日)～21日(祝)  
会 場：福井県県民ホール、福井市地域交流プラザ、福井市にぎわい交流施設



国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部  
一般社団法人 日本アドバンス・ケア・プランニング研究会 事務局  
〒474-8511 愛知県大府市森岡町7丁目430番地 TEL:0562-46-2311(代表)